

●パラナ州治安情報（増加した南部3州の暴力事件）

2月1日付当地ガゼッタ・ド・ポーヴォ紙は、応用経済研究所（Ipea）の調査結果として、パラナ州の暴力事件発生件数の上昇が他州と比し、突出している旨報じていますので、概要以下のとおり報告致します。

2月1日、応用経済研究所は、2001年から2009年の全国世帯調査（PNAD）及び保健省のデータを基にした調査結果を発表した。南部3州（パラナ州、サンタカタリーナ州及びリオグランデ・ド・スル州）の暴力事件（殺人、強盗、強姦等の暴力に関連する事件）は、伯国内他州と比し上昇している。特に男性殺人率は目立つ。2007年パラナ州の10万人あたりの殺人率（15～29歳男性）は116.3人である。2001年から2007年にかけて全伯殺人率は7%減少する一方、パラナ州の殺人率は62.2%上昇した。

●感染症関連情報（パラナ州沿岸部におけるクラゲ刺症被害の多発）

1. 1月28日付当地「ガゼッタ・ド・ポーヴォ」紙は、パラナ州沿岸部におけるクラゲ刺症被害事件数は、9,222件（昨年12月16日から本年1月27日）に達し、対前年同期の541件を大幅に上回った旨報じています。

2. なお、1月27日付パラナ州保健局プレスリリースによると「昨年夏において508件のクラゲ刺症被害事件が発生するも、本夏は既に約1万件に達した」旨記載があったところ、念のため報告致します。